

ニューソフィア

New Sophia

78号

[vol.21-2]

福岡歯科大学は「口腔医学」を推進しています



Seasonal Topics

福岡歯科大学 平成25年度入学式
福岡医療短期大学

新入生研修会を実施

Featuring News

国際交流

中国医科大学口腔医学院と姉妹校協定を締結／上海交通大学口腔医学院の学生訪問団来学／
ミャンマーでの医療援助活動／慶熙大学校歯科大学の学生訪問団来学

医科歯科総合病院に小児科・整形外科開設

College News

福岡歯科大学 平成24年度卒業式・修了式
福岡医療短期大学

口腔医学のフロントランナーとして

「口腔歯学部・口腔歯学科」へ名称変更

口腔医学シンポジウム／Q-conference2012

[The Campus' People]

■新監事紹介／新役職教員等紹介／口腔医療センター長就任／
定年退職を迎えて

■新任・昇任教授／教員紹介

■平成25年度福岡歯科大学客員臨床教員紹介

■平成25年度学友会総務委員長決定／

福岡歯科大学父兄後援会長選任／

福岡医療短期大学保健福祉学科父兄後援会長改選

[Event]

■歯科医師臨床研修がスタート／

再生医学研究センターシンポジウム／

福岡医療短期大学歯科衛生学科登院式 ほか

◆From The Alumni Association

同窓会だより

◆Hi! From Clinic

城山橋歯科クリニック（熊本県熊本市）

ふじもと歯科（愛媛県大洲市）

◆Messages From Students & Parents

学生の保護者様からのメッセージ

◆Information

平成26年度入試日程／オープンキャンパス

16

15

14

13

12

11

10 9

8

7 6

5

4

3

2

入学式

福岡歯科大学、福岡医療短期大学 平成25年度入学式

福岡歯科大学

夢と希望を持って、

福岡歯科大学へ



式辞を述べる
北村 憲司 大学長

福 岡歯科大学口腔歯学部・大学院の平成25年度入学式は4月5日、来賓ならびにご家族の列席のもと福岡歯科大学本館講堂で挙行されました。

緊張の面持ちの99人の口腔歯学部新入生に北村憲司大学長は、「歯科医師として、国民の健康増進に貢献することを目指す決心をされた新入生の皆さんを、心から歓迎致します。福岡歯科大学は、今年度から、新しく口腔歯学部として出発します。口腔歯学部という名称には、新しい時代の歯科医師を育成するという、大きなメッセージが込められています。歯科医療は単に、歯の病気を治すために必要なのではなく、歯や口腔によってもたらされる豊かな表現、



筑紫 可奈子さんによる宣誓

社会活動を円滑に行うために必要なものです。二十一世紀の歯科医師は、『口腔医学』を学び、『口腔の健康を通して、全身の健康を守る』歯科医師であることが必要です。口腔歯学部での学びの中に、新しい歯科医学の息吹を感じ、それを自己のものとしてくださることを、強く期待します。」と述べました。

10人の大学院入学生に対して、「世界で評価される高い質の研究を実践し、洞察力を持った歯科医師を目指して、これからの四年を充実した時間としていただき、福岡歯科大学の次の時代を担う後継者として『口腔医学』によって、次代の国民の健康を守る先導者となつていただきます」と式辞を述べました。



校歌を紹介するグリークラブ

福岡医療短期大学

新しい気持ちでスタート、

福岡医療短大



式辞を述べる
栢 豪洋短大学長

福 岡医療短期大学の平成25年度入学式は、4月9日、本館講堂で執り行われました。式辞の中で栢豪洋短大学長は「本学は、他大学にはない特色として、キャンパス内に介護老人保健施設と介護老人福祉施設を設置しており、そこで介護のできる歯科衛生士、口腔ケアもできる介護福祉士の養成に力を注いでいます。将来、皆さんは、知識や技術の習得だけでなく、口腔ケアの必要な患者さんや介護の必要なお年寄りに



歯科衛生学科 浦江 あゆみさんによる宣誓

優しい心で接して支えることができる歯科衛生士や介護福祉士になっていただきたい。また専攻科に入学の皆さんは、口腔保健学を学び、これから更に口腔ケアの高度な知識や技術を身につけて、日本の歯科衛生士のレベルを更に上げていただきたい。」と述べ、希望に胸をふくらませた155人（歯科衛生学科98人、保健福祉学科33人、専攻科24人）の新入生にエールを送りました。



保健福祉学科 泉 大地さんによる宣誓

新入生
研修会

2日間にわたって新入生研修会を実施

福岡歯科大学新入生研修会

4

月12日、13日の2日間、平成25年度新入生研修会が国立阿蘇青少年交流の家で実施され、理事長と大学長による講話、メンタルヘルスやキャンパス倫理に関する講義、阿蘇登山や熊本市大慈禅寺での座禅体験などが行われるなか、新入生は助言教員との親睦を深めることができました。これからの6年間、学業や学生生活を共に過ごす仲間たちとともに有意義なスタートが切れたことでしょう。



福岡医療短期大学新入生研修会

4

月12日、13日の2日間、平成25年度新入生研修会が国立阿蘇青少年交流の家で行われ、歯科衛生学科と

歯科衛生学科



保健福祉学科はそれぞれに、火山噴火口見学やレクリエーション活動で新入生と上級生、教員との親睦を深めました。

保健福祉学科



校協
定



中国医科大学口腔医学院と 姉妹校協定を締結

福 岡歯科大学と中国医科大学口腔医学院との姉妹校協定書の調印式が、3月21日、福岡歯科大学本館で行われました。調印式には、中国医科大学から路振富院長等4名、本学から田中理事長、北村大学長他法人役員や教授、国際交流委員等22名が出席し、姉妹校協定書への調印が行われました。

姉妹校協定締結は、上海交通大学、ヤンゴン歯科大学、慶熙大歯科大学に続く、4校目となります。

今回の協定締結により両大学は今後、

①基礎および臨床医学並びに歯学研究での共同研究

②教職員の交流 ③学生交流プログラムの実施

④その他、教育研究等に必要となる情報等の交換

が検討され国際交流が進められることとなります。

中国医科大学は、中国東北地方の中心都市の瀋陽にあり、古い歴史を持つ大学として、医学教育のリーダー及び医学界の著名専門家を多数輩出し、中国の現代医学教育において中心的な役割を果たしています。また国際交流にも力を入れており、世界各国からの多くの留学生を受け入れています。



来学



上海交通大学口腔医学院の 学生訪問団来学

上 上海交通大学口腔医学院の学生訪問団が、3月3日から8日間、本学を訪れました。

今年度は、学生6名と引率の教員3名の計9人で来学されました。6人の学生は、補綴科等の病院実習に参加するとともに、基礎系講義を受講しました。また、3人の先生には、学内で講演をして頂きました。

帰国する前日には唐津観光やショッピングを楽しみ、10日に無事帰国されました。

昨年4月に上海を訪れた本学学生は、再会を喜び、時間の許す限り上海の学生と行動を共にし、交流を深めていきました。この交流の輪は訪問した学生のみならず他の学生にまで広がっており、学生間の交流は年々深まっているように感じられました。



来学



慶熙大歯科大学の 学生訪問団来学

1 月27日、韓国の慶熙大歯科大学歯科学学生4名と引率の教員1名が来学されました。1月27日から2月3日までの本学滞在中、大学や病院、口腔医療センターの見学からインプラント模型実習、小児歯科等の病院実習に至るまで多くの体験を通じ、本学の教員や学生と交流を深めました。

慶熙大歯科大学は、ソウルの私立大学の中でも最も長い歴史を誇り、韓国の大学の国際化をリードする名門大学です。2007年より始まった相互交流は、お互いの学生が自国以外の歯学や文化について直接意見交換ができる、とても貴重な学びの機会となっています。



医療
援助活動



ミャンマーでの 医療援助活動

3 月7日から15日までの9日間、平成16年に締結された本学とヤンゴン歯科大学との姉妹校協定に基づく学術交流および医療援助活動の一環として、大関悟教授（口腔腫瘍学分野）をリーダーとする福岡歯科大学医療チームがミャンマーへ派遣され、ヤンゴンおよびマンダレー歯科大学口腔外科等と共同で手術や診察を行いました。医療チームは大関教授の他、野上堅太郎講師（麻酔管理学分野）、岡本愛彦助教（口腔腫瘍学分野）、因美香看護師、太田信敬さん（大学院生）の計5名で構成され、サガイン僧院病院等にて、口唇口蓋裂など28例の手術と診察を行いました。

また滞在中、ヤンゴン歯科大学との姉妹校協定に基づく今後の大学間交流について意見交換を行いました。今後の両校の相互交流が期待されます。



小児科・整形外科開設

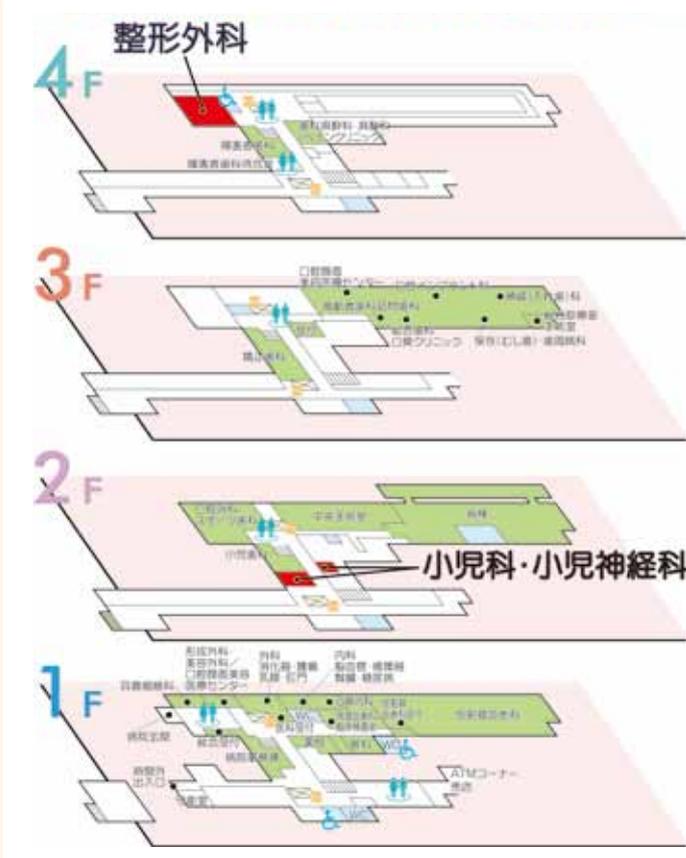
医科歯科総合病院に

小児科・整形外科が開設されました。

福 岡歯科大学では、「口腔医学」
 によって口腔の健康を通して
 全身の健康を守る歯科医師を養成
 するため、歯科だけではなく、内科、
 外科をはじめとする一般医学の充
 実に取り組んできました。その一環

として、4月から医科歯科総合病
 院に小児科・整形外科を新たに開
 設し、既存の歯科・内科診療科と緊
 密な連携をとって総合的な医療を
 展開いたします。

福岡歯科大学医科歯科総合病院 フロア図



4F 整形外科



井上教授(前例中央)と整形外科スタッフ

整形外科
スタッフ



リハビリ室

2F 小児科・小児神経科



岡田教授(前列左側)と小児科スタッフ

小児科
スタッフ



小児科
待合室



答辞を述べる卒業生代表 竹島 朋宏さん



大学院修了生

卒業式
修了式

第35回歯学部卒業式・第25回大学院修了式

福岡歯科大学の第35回歯学部卒業式並びに第25回大学院修了式が、3月16日午前10時から本館講堂で執り行われ、北村憲司大学長より歯学部卒業生97人に卒業証書学位記が手渡され、大学院修了生8人には博士(歯学)の学位記が授与されました。

表彰者

学業成績最優秀者

《理事長賞》小野 由湖

《学長賞》二反田 詩織

小山 美香

学友会功労者

竹島 朋宏

緒方 武文

田中 宏

時任 高聖

松尾 勇弥

学位論文紹介

学位記番号 氏名	学位論文
甲 第234号 藤本 暁江	Involvement of suppressor of cytokine signaling-1 in globular adiponectin-induced granulocyte colony-stimulating factor in RAW 264 cell
甲 第235号 佐野 しおり	Stabilization of MAPO1 by specific binding with folliculin and AMP-activated protein kinase in O6-methylguanine-induced apoptosis
甲 第236号 堀越 恵美子	Oxygen saturation and electromyographic changes in masseter muscle during experimental chewing of gum with harder texture
甲 第237号 加地 千晶	The expression of podoplanin and classic cadherins in the mouse brain
甲 第238号 西村 紗和	Risk factors to cause tooth formation anomalies in chemotherapy of pediatric cancers
甲 第239号 入江 昭仁	Transparent film formation of DNA/cationic polymer complexes by hydrothermal hot pressing: observation of cell culture on films and biodegradation of films in vivo
甲 第240号 坂井 拓弥	The Effect of Implant Surfaces sputter-coated with Hydroxyapatite Target
甲 第241号 王 東江	Effects of Bisphosphonate Administration on Peri-Implant Bone in Vitamin D-Deficient Rats

【学位授与日:平成25年3月16日】

乙 第84号 大殿 純央	ブドウ果皮由来アントシアニン系色素に含まれるプロシアニジンの抗菌作用
乙 第85号 松本 晴仁	Evaluation of pathogenicity of Candida albicans in germination-ready states using a silkworm infection model
乙 第86号 大野 知子	非接触型歯科用分光光度計を用いた漂白効果と後戻りの評価

【学位授与日:平成25年3月29日】

共用試験(CBT,OSCE)実施

臨床実習前の第4学年97人は平成24年度共用試験として2月26日にCBT「知識・思考力(問題解決能力)を問う多肢選択式試験でコンピュータを使った試験」並びに3月3日にOSCE「技能・態度を客観的に評価する臨床能力試験」を受験しました。この共用試験は、診療参加型臨床実習に参加する学生に必要な基本的知識と問題解決能力、基本的技能と基本的態度を評価することによって、診療チームの一員として患者さんから学ぶ姿勢と能力を身に付け、学生にとって学びの多い臨床実習を行うために全国すべての歯学部で実施されるものです。

国家試験結果

第106回 歯科医師国家試験

3月19日、厚生労働省から第106回歯科医師国家試験の結果が発表されました。全国の受験者3,321人中、合格者2,366人、合格率は71.2%でした。福岡歯科大学からは新卒者97人及び既卒者44人、計141人が受験し、98人が合格しました。合格率は新卒で72.2%、既卒と合わせて69.5%と不本意な結果となりました。在学生の皆さん、再挑戦の皆さんの奮起を期待します。

卒業式
修了式

第15回福岡医療短期大学卒業式・ 第14回福岡医療短期大学専攻科修了式

福岡医療短期大学の第15回卒業式が3月13日午前10時から福岡歯科大学本館講堂で執り行われ、歯科衛生学科88人、保健福祉学科23人の卒業生に対し、栢豪洋短大長より卒業証書が授与されました。また、専攻科口腔保健衛生学専攻の20人には、修了証書が授与されたほか、独立行政法人大学評価・学位授与機構の定める学修成果・試験の審査に合格し、「学士(口腔保健学)」の学位記も併せて授与されました。

表彰者

学業成績優秀者

■ 歯科衛生学科

〈理事長賞〉古瀬 恵
〈短大長賞〉中野 六月
中西 愛里

■ 保健福祉学科

〈理事長賞〉楠田 梨奈
〈介養協会長賞〉田中 一成

専攻科学位取得者(20人)

青山 理恵	北野 香	武居 春佳	西原 麻佑美	三浦 紗月
井上 紗由莉	熊谷 香織	津田 いよ	日高 歩	森 志織
大城 朋加	小山 真輝	富田 恵子	藤田 紗綾	山野 美好
岡部 美咲	佐々木 杏菜	中山 めい	古市 奈央	吉田 舞



答辞を述べる
歯科衛生学科卒業生代表
古瀬 恵さん



答辞を述べる
保健福祉学科卒業生代表
楠田 梨奈さん



「大学教育・学生支援推進事業」 就職支援推進プログラムの優秀校に選定

文部科学省の平成21年度「大学教育・学生支援推進事業」就職支援推進プログラムに採択された「超高齢社会の就業力向上につなげる医療・福祉系学生の就職支援」(取組担当者:保健福祉学科長・大倉義文教授)の取組みが評価され、この度、学生支援推進プログラム評価委員会の実地視察を経て、優秀校に選定されました。

この取組みは、医療・福祉系学生の就職促進と早期離職問題の解決に対応するために、就職相談専門員による適性や能力に対応した就職支援、外部有識者や卒業生アドバイザーによるセミナー及びガイダンス、評価委員会による取組みの評価・改善を通じて、学生自らの就業力を向上させるとともにきめ細やかな支援を行うもので、医療短期大学独自の就職支援システムです。

日本学生支援機構が発行する「平成21年度「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラム及び就職支援推進プログラム優秀事例集」に取組み内容が掲載され、全国の国公私立大学・短期大学等に配付される他、日本学生支援機構のホームページでも公開される予定です。

国家試験結果

第22回歯科衛生士国家試験

3月27日、厚生労働省から第22回歯科衛生士国家試験の結果が発表されました。福岡医療短期大学・歯科衛生学科からは卒業生88人(既卒者0人)が受験し、合格者は87人、合格率は98.9%でした。なお全国の合格率は96.2%でした。

昨年度に引き続き、国家試験の100%合格を目指して、国家試験演習を11回実施するとともに、各回の成績不振者に対しては、水曜日、土曜日に国家試験問題集を使用する補習を実施するなど、全教員が早期から対応しましたが、4年連続100%合格は達成できませんでした。

口腔医学のフロントランナーとして

「口腔歯学部・口腔歯学科」へ

名称変更

口腔医学の推進

□ 口腔医学の推進に向けた取組みは、平成16年に策定の学園中期目標で、「口腔医学の確立」を教育目標として掲げたことから始まりました。

口腔医学とは、医学と歯学との知の統合を果たし、患者中心の医療を実現するために田中健蔵理事長が創案した新たな理念です。超高齢社会が進展していること、歯学・歯科医療も急速に進歩して一般医療との関連が緊密なものになっていることなどを踏まえ、従来の「歯学」から、歯学教育の高度専門化とともに一般医学教育を充実させた「口腔医学」へと学問体系を改変してゆくの

口腔医学の展開

本 学園では「歯学から口腔医学へ」をモットーに掲げて、文部科学省、厚生労働省をはじめ、社会、学界、医療界からの理解と協力を得るための説明を行ってきました。また平成17年には、附属病院を「医科歯科総合病院」に改称して医科診療科を拡充させました。

さらに平成20年には文部科学省の戦略的大学連携支援事業として、「口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教

育体制の再考」が採択されました。この取組みは本学を代表校とし、九州歯科大学、北海道医療大学、岩手医科大学、昭和大学、神奈川歯科大学、鶴見大学、福岡大学の7大学と連携し口腔医学を全国的に展開してゆくものであります。

教育においても一般医学講義や医科臨床実習などを充実させ、特徴ある口腔医学カリキュラムを作成し、「口腔の健康を通じて全身の健康を守る歯科医師」の育成に努めています。

口腔歯学部・口腔歯学科へ

平 成23年6月、医療、保健、福祉分野での社会貢献を使命とする本学園にふさわしく、法人名を「福岡学園」へと変更いたしました。そしてさらに本年4月からは、口腔医学に関する活動をアピールするとともに、歯学教育や歯科医療の実態に即したものとすため、学部・学科の名称を「歯学部 歯学科」から「口腔歯学部・口腔歯学科」へ変更しました。

昨年創立40周年を迎えた福岡歯科大学は、口腔医学のフロントランナーとして、50周年、100周年へ向け学部・学科の名称も新たに、さらなる発展と飛躍への新しいスタートを切ったのです。

口腔医学シンポジウム

戦略的大学連携事業「口腔医学シンポジウム」および「連携大学学長・学部長会議」を開催しました。

1 月13日(日)札幌市の北海道経済センターにおいて、口腔医学シンポジウム「口腔疾患と全身疾患との関わり」を開催しました。

口腔疾患と全身疾患との関連について、専門の先生方が最新の知見を紹介し、口腔医学は今後どのように展開していくのか等について討論を行いました。

当日は多数の方にご来場いただき、口腔医学の関心の高さが感じられました。

また会議に先駆けて「第8回連携大学学長・学部長会議および戦略連携事業実施担当者会議合同会議」を同センターの会議室にて開催しました。



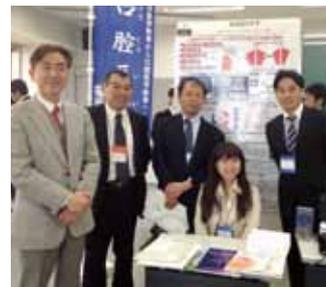
Q-conference2012

Q-conference2012でポスター発表

3 月2日、九州産業大学においてQ-Links主催のQ-conference2012(活動報告会)が開催されました。本学もポスターセッションで参加し、「口腔医学プロジェクトの活動状況」についてPRLしました。

本学ポスターセッションの発表タイトル

「口腔医学の確立のための事業報告と新たなる取組み」



定年退職を迎えて



機能生物化学講座
感染生物学分野
教授 **上西 秀則**

福岡歯科大学開学時に口腔細菌学講座の助手として赴任以来、41年間研究と教育に

携わり、この3月末で定年退職致しました。山あり谷ありの大学時間でしたが、有意義に過ごせたこと、教職員の皆様のお蔭と心から感謝申し上げます。本学の益々の発展を心より祈念致します。Alles gute, auf wiedersehen.



福岡医療短期大学
歯科衛生学科
教授 **井田 高之**

昭和58(1983)年4月福岡歯科大学に赴任して、ほぼ30年が経過。この間、大学・短大(平成9年開学)に集う全学生に経済学等を講義。「学生は教師を映す鏡」とばかり内省と努力で教育、研究に努めました。多くの教職員の方々に助けられ、学生に育てられたと思っています。福岡歯科学園から福岡学園への名称変更は発展の証。このような環境で過ごせたことを誇りに思うと同時に、今後ますますの発展を祈念いたします。



社会福祉法人学而会
特別養護老人ホーム
サンシャインプラザ(出向)
施設長 **山川 公明**

福岡歯科大学開学の年、昭和48年4月に事務職員として採用されました。当時は病院棟と教養棟のみで周囲は田んぼに囲まれており、よくカエルの大合唱が聞こえていたことを懐かしく思い出します。平成17年12月最終異動先となった、社会福祉法人学而会 特別養護老人ホームサンシャインプラザで定年を迎えることになりました。今は、40年間大病もせず息災で勤務出来たことへの充実感と私を今日まで厳しくそして温かく指導して下さった田中理事長先生をはじめ多くの教職員の皆様方に深く感謝申し上げます。今後の福岡学園の益々のご隆昌を祈念しております。

新監事紹介



にしきた かずひさ
監事 **西方 和久**

平成24年12月18日に開催された第455回理事会において、選任されました。

〈略歴〉北九州市立大学卒。福岡大学大学院修了。福田会計事務所、西方久雄税理士事務所を経て、税理士法人西方会計代表に就任し、現在に至る。福岡県出身。

新役職教員等紹介

学生部長に高橋教授、新役職教員等決まる

2月19日に開催された第457回理事会において、大学運営の中核を担う役職教員等が次のとおり決定しました。任期は、平成25年4月1日から2年間です。



今後2年間、大学運営の中核を担う新役職教員

病院長	小島 寛(障害者歯科学分野・教授)
学生部長	高橋 裕(有床義歯学分野・教授)
情報図書館長	大関 悟(口腔腫瘍学分野・教授)
口腔・歯学部門長	佐藤 博信(冠橋義歯学分野・教授)
全身管理・医歯学部門長	池邊 哲郎(口腔外科学分野・教授)
社会医歯学部門長	埴岡 隆(口腔健康科学分野・教授)
基礎医歯学部門長	岡部 幸司(細胞生理学分野・教授)
学生部次長	尾崎 正雄(成育小児歯科学分野・教授)
学生研修センター主事	阿南 壽(歯科保存学分野・教授)

口腔医療センター長就任

こが ちひろ
センター長 **古賀 千尋**



みなさんこんにちは。福岡歯科大学口腔医療センター長に就任しました古賀千尋と申します。センターでは開設時より、口腔外科系担当教授として働いてまいりました。本当に患者さんは来てくれるのだろうかと不安を抱きながら開業の日を迎えたのを思い出します。開設してからの約1年半を振り返ると、松浦正朗センター長のもと米田教授、横上助教など開設時からの常勤の先生方を中心に、たくさんの先生方にお手伝い頂きながら、地道な診療によってセンターの基礎ができたのではないかと考えております。今では、患者数も順調に増加し、各科専門の先生や歯科衛生士などのスタッフも増え、一同忙しい日々を送っております。これからは、松浦前センター長が築いてこられたセンターの長所を継承しつつ、新しいことにも積極的にチャレンジし、本学や同窓の先生方そして地域の方々にとって、なくてはならない施設へ発展させたいと考えております。そのためには同窓会をはじめ皆様のさらなるご支援が必要となりますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

〈略歴〉福岡歯科大学歯学部卒。久留米大学大学院医学研究科外科系専攻博士課程修了。久留米大学医学部助手、講師、助教授。米国インディアナ大学歯学部(IUPUI)留学。久留米大学医学部准教授、福岡歯科大学准教授、福岡歯科大学口腔医療センター教授を経て、平成25年4月1日同センター長就任。医学博士。福岡県出身。

教授紹介

口腔医療センター

新任 教授 **勝山 英明**

これまでの国際的
活動ならびに臨床分野
での実績を基に、次
の世代への教育に
尽力していきたいと
考えています。また、
世界に通じる臨床医、
臨床研究者の育成
に向け、急ピッチで
体制の確立と発展
に従事してまいります。



〔略歴〕九州大学歯学部卒。同大学院歯学臨床系口腔外科学専攻。九州大学医学部薬理学教室出向。同大学院修了。アメリカ合衆国ハーバード大学Beth Israel Hospital, Department of Medicine, Cardiovascular Division Research fellow, International Team for Implantology (ITI) 事務局長、ITI, Member of Board of Directors (理事)を経て平成25年2月1日福岡歯科大学教授就任。歯学博士。長崎県出身。

小児科学分野

新任 教授 **岡田 賢司**

子どもたちの健やか
な成長・発達のお手
伝いをするのが、小
児科の役割です。そ
のためには、子ども
たちを“よくみる”、子
どもたちの声を“よく聞
く”、そして“よく考え
る”と教えられてきま
した。小児の口腔医
学を含めたトータルケアをめざしていきたいと思います。



〔略歴〕鹿児島大学医学部卒。九州大学大学院医学研究科修了(細菌学)。九州大学医学部小児科助手、講師、国立療養所南福岡病院(現:国立病院機構福岡病院)小児科医長、統括診療部長を経て、平成25年4月1日福岡歯科大学教授就任。医学博士。福岡県出身。

整形外科分野

新任 教授 **井上 敏生**

今までの経験を生か
して、足部疾患の治
療を重点的に行いた
いと思います。また、
小児科も新規に開設
されることより、小
児の運動器疾患に対
しても質の高い治
療を行いたいと思
います。一方、日常
診療において、安全
に留意し、学生教育
においては安全な治
療をするために何
が大切であるかを
教育していきたい
と思います。



〔略歴〕東北大学医学部卒。九州大学医学部整形外科入局。福岡市立こども病院整形外科、福岡大学病院整形外科助手、同大学医学部整形外科助教授、白十字病院整形外科整形形成統括部長、同病院副院長を経て、平成25年4月1日福岡歯科大学教授就任。医学博士。大分県出身。

高齢者歯科学分野

昇任 教授 **内藤 徹**

歯科外来受診者の
うちの高齢者の占
める割合が35%を
超える現在、高齢
者医療はますます
重要になってきま
しました。要介護
高齢者に対する
歯科医療を理解し
た歯科医師養成を
目標に、全人的な
包括医療の基盤と
なる口腔医学を推
進していきたいと
思います。



〔略歴〕九州歯科大学歯学部卒。同大学院歯学研究科修了。米国テンプル大学医学部研究員、米国Fox Chase Cancer Center研究員、九州歯科大学助手、福岡歯科大学講師、同准教授を経て平成25年4月1日福岡歯科大学教授に昇任。博士(歯学)。愛知県出身。

口腔健康科学分野

昇任 教授 **筒井 昭仁**

歯科疾患の多くは
予防可能で、発症
してもコントロール
できる時代となり
ました。予防研究
、その成果を人々
に届けるトランス
レーショナル研究
に取り組み、教育
に活かします。ま
た口腔医学の普及
、認知向上に務
めます。



〔略歴〕九州歯科大学歯学部卒。新潟大学歯学部助手、福岡歯科大学助教授。米国国立衛生研究所NIDR研究員。カナダブリティッシュコロンビア大学ヘルスプロモーション研究所研究員。平成25年4月1日福岡歯科大学定員外教授に昇任。歯学博士。福岡県出身。

機能構造学分野

昇任 教授 **敦賀 英知**

教育は解剖学、研
究は弾性線維です。
学び、そして探求
する楽しさを若い
世代に伝えられた
らと思っています。



〔略歴〕北海道大学歯学部卒。同大学院歯学研究科博士課程修了。米国南カロライナ州立医科大学留学。北海道医療大学歯学部助手、福岡歯科大学准教授を経て平成25年4月1日福岡歯科大学定員外教授に昇任。博士(歯学)。北海道出身。

平成25年度福岡歯科大学客員教授・准教授

客員教授	井口 八郎	元京都大学・教授
	大慈弥 裕之	福岡大学医学部・教授
	久保 真一	福岡大学医学部・医学部長
	白日 高歩	医療法人福西会福西会病院・院長
	関口 睦夫	福岡歯科大学・客員教授

客員教授	TAKAHASHI MASAYUKI	フランス国立科学研究機構ナント大学共同研究所・タンパク機能部門長
	内藤 正俊	福岡大学・副学長
	中山 宏明	九州大学・名誉教授
	西間 三馨	福岡女学院看護大学・学長
	福田 仁一	前九州歯科大学・理事長 学長

客員教授	水口 清	東京歯科大学・教授
	宮本 新吾	福岡大学医学部・教授
	山内 三男	ノースカロライナ大学・教授
客員准教授	奥田 貢介	奥田・二子石法律事務所・弁護士

平成25年度福岡歯科大学臨床教授・准教授

客員教授	荒川 周幸	あらかわ歯科・矯正歯科クリニック・院長
	石井 香	いしかおり小児歯科・院長
	上田 秀朗	うえだ歯科医院・院長
	久芳 陽一	くば小児歯科医院・院長
	小柳 進祐	小柳歯科医院・副院長
	下田 恒久	中央歯科・口腔外科クリニック・院長
	住吉 周平	スミヨシ歯科口腔外科こども歯科・院長
	田畑 修	田畑歯科医院・院長

客員教授	土屋 嘉都彦	土屋デンタルクリニック
	中 四良	中歯科医院・院長
	長島 義之	長島病院歯科
	中牟田 博敬	熊本大学医学部医学臨床教授
	中村 芳明	高木病院・歯科口腔外科部長
	橋本 敏昭	はしもと小児歯科医院・院長
	松永 興昌	松永歯科クリニック審美・インプラントセンター・薬院・院長
	森 智昌	森歯科小児歯科医院・院長

客員准教授	米津 康一	口腔診断サービス
	大村 祐進	おおむら歯科医院・院長
	大森 桂二	大森歯科医院・院長
	榊 恭範	さかぎデンタルオフィス・院長
	白石 和仁	白石歯科医院・院長
	山田 潤一	福岡天神インプラントクリニック・院長
	吉永 修	吉永歯科医院・院長

教員紹介

小児科学分野

新任 准教授 **鳥巢 浩幸**

発達の問題やけいれん性疾患などの小児神経疾患を中心に診療・研究・教育に携わってまいりました。最新の知見を取り入れながら、これまでに得た知識と経験を活かし、小児の全人的・包括的医療に貢献したいと思います。



〔略歴〕九州大学医学部卒。九州大学病院小児科、福岡市立こども病院、九州医療センター小児科、鳥取大学病院脳神経小児科、九州大学病院小児科助教、診療講師を経て、平成25年4月1日福岡歯科大学准教授就任。博士(医学)。福岡県出身。

障害者歯科学分野

新任 講師 **木村 敬次** **リチャード**

歯学部附属病院、入所施設歯科および地域センターなどで障害者歯科に従事してきました。これまでの経験を活かし、障害者歯科学分野の発展に努力していきたいと思っています。



〔略歴〕大阪大学歯学部卒。大阪大学歯学部附属病院医員・研究生、堺市重度障害者歯科診療所副所長を経て、平成25年4月1日福岡歯科大学講師就任。博士(歯学)。福岡県出身。

外科学分野

新任 講師 **別府 理智子**

大腸肛門疾患、特に良性肛門疾患を専門としています。専門診療とともに、学生の教育にも力を入れています。よろしくお願い申し上げます。



〔略歴〕佐賀医科大学卒。福岡大学大学院医学研究科修了。福岡大学病院消化器外科学講座講師を経て、平成25年4月1日福岡歯科大学講師就任。博士(医学)。福岡県出身。

口腔インプラント学分野

昇任 講師 **森永 健三**

口腔インプラント学を通じて豊かな人間性を備えた有能な医療人の育成に努めます。臨床、研究、教育のこれまでの経験を活かし、口腔インプラント学分野の発展に貢献できるよう頑張ります。



〔略歴〕福岡歯科大学歯学部卒。同大学院歯学研究科修了。福岡歯科大学咬合修復学講座口腔インプラント学分野助教を経て、平成25年2月1日、福岡歯科大学講師に昇任。博士(歯学)。佐賀県出身。

口腔医療センター

昇任 講師 **津江 文武**

本学在籍中は高橋裕教授をはじめ多くの先生の御指導のもと多岐にわたり大変貴重な経験をさせていただきました。今後は口腔医療センターにて口腔の機能回復と長期的安定を目標に咬合再構成へ取り組んでまいります。



〔略歴〕福岡歯科大学歯学部卒。同大学院歯学研究科修了。福岡歯科大学咬合修復学講座有床義歯学分野助教、口腔医療センター助教を経て、平成25年4月1日福岡歯科大学講師に昇任。博士(歯学)。大分県出身。

内科学分野

昇任 講師 **寒水 康雄**

内科医として臨床に従事しながら、高血圧や加齢に伴う動脈硬化の機序の解明と治療について研究してきました。研究を更に発展させるとともに、福岡歯科大学の教育・臨床の発展に努めたいと考えています。ご助言・ご指導を宜しくお願いいたします。



〔略歴〕広島大学医学部卒。バース大学留学。九州大学病院第二内科医員、福岡歯科大学総合医学講座内科学分野助教を経て、平成25年4月1日福岡歯科大学講師に昇任。博士(医学)。福岡県出身。

平成25年度学友会総務委員長決定

任期満了に伴う福岡歯科大学学友会総務委員長の改選が1月16日に行われ、第5学年岡信孝さんが総投票数469票中445票(94.9%)の信任票を獲得。4月1日付けで平成25年度学友会総務委員長に就任することが決定しました。

第5学年 岡 信孝さん



福岡歯科大学父兄後援会長に 下田恒久氏が就任

3月9日に開催された福岡歯科大学父兄後援会理事会・評議員会合同会議において、同会長の改選が行われ、第19代会長として下田恒久氏が選任されました。

下田 恒久氏

〔略歴〕昭和60年福岡歯科大学卒業(第7期生)



吉田公典評議員ご逝去

本学園の吉田公典評議員が4月3日逝去されました。同氏は昭和54年に1期生として本学を卒業後、荒尾市歯科医師会長、熊本県歯科医師会副会長等を歴任され、平成11年から福岡歯科大学同窓会副会長として、また平成17年から本学園の評議員として学園および大学の発展のため尽力されました。享年69才。合掌



福岡医療短期大学保健福祉学科 父兄後援会長改選

4月9日、福岡医療短期大学入学式に引き続き開催された父兄後援会総会において、保健福祉学科父兄後援会長に平川照代氏が選任されました。



平川 照代氏

臨床研修 歯科医師臨床研修がスタート

4月1日、平成25年度歯科医師臨床研修開始式が執り行われ、75人が辞令を受け臨床研修歯科医師として研修を開始しました。研修プログラムは、単独型・複合型があり、医科歯科総合病院のみ、あるいは医科歯科総合病院とその他の協力型臨床研修施設に登録されている歯科医院等において来年3月まで行われます。



登院式 福岡医療短期大学 歯科衛生学科登院式

4月11日、福岡歯科大学本館講堂にて平成25年度福岡医療短期大学歯科衛生学科登院式が執り行われました。同学科新3年生82名は、来賓、法人役員、教員、在学生、父兄等が見守る中、名前が呼ばれると緊張した面持ちで一人ひとり壇上に上がり、栢短大学長から戴帽を受けました。



いよいよ医科歯科総合病院での臨床実習が開始され、歯科衛生士に向けての実践的な第一歩が始まりました。

シンポジウム 再生医学研究センター シンポジウム

1月24日、本館8階801講義室において、平成24年度第3回再生医学研究センターシンポジウム(大学院特別講義)が開催されました。田中理事長の挨拶の後、東京女子医科大学・先端生命医科学研究所・岩田 隆紀特任講師による「細胞シート工学に基づいた歯周組織の再生」と題した講演が行われました。参加した大学院生、教職員は再生医療の最新の研究成果に熱心に耳を傾け、講演後には多くの質問が寄せられました。



イベント にこにこウォーキング& ジョギング2013を開催

4月6日、地下鉄七隈線沿線三大学連絡協議会主催の「にこにこウォーキング&ジョギング2013」が昨年に引き続き開催されました。このイベントは中村学園大学、福岡大学、本学の三大学が、スポーツ、医療、栄養という分野の専門性を活かし、地域の健康づくりや疾病予防等を通じて地域社会に貢献することを目的として開催されました。

当日は、雨天のため、福岡大学第二記念会堂内において、福岡大学スポーツ科学部の田中宏暁教授が体への負担が少ないジョギングの方法等を指導。参加者約80名は教わったジョギングのポイントを実践しながら汗を流しました。



掲載 「ANTI-AGING MEDICINE」に 口腔顔面美容医療センターが 紹介されました。

日本抗加齢医学会雑誌「ANTI-AGING MEDICINE」2012 Vol.8 No.6号の福岡大学病院美容医療センター特集記事の中で医科歯科連携の実践先として本学の口腔顔面美容医療センターが紹介されました。



コラム「アライ」

平等という幻想

フリードマンはその著書の中で、「神の前の平等」は、いつしか「機会の平等」に代わり、今や「結果の平等」を意味するものとなっていると述べている。私達は自分に機会が与えられないことを不満に思い、不平等だと

声を大きくするが、全ての人間に、全てのことに対する機会が、平等に与えられる訳ではない。それぞれの人は、他の人と違う機会を常に得ているし、その機会の重要度はそのことに対する本人の意欲に依存している。かつて、小学校の運動会で手をつないで全員一緒にゴールすることが報じられていた。確かに、「結果の平等」は弱者をいたわる心を涵

養すると言うこともできるが、より良くありたいと願う強者の権利を人の手によって侵すことになる。幸福を追求したいという気持ちは、どんな人のものであれ、誰も奪えないという意味で平等であり、全ての人に追求する機会や、幸福な結果が与えられる平等は不可能であることを自覚しないと、私達は常に不満しか言えない小さな人間になってしまう。

第26回福岡歯科大学 同窓会主催学術講演会

学術常務理事 岩本 憲明

平成24年11月25日の日曜日、福岡県歯科医師会館視聴覚室にて、「変革する確実な診査・診断」をテーマに開催いたしました。

近年、歯科用3次元エックス線断層撮影の歯科用CTは、主に口腔外科領域やインプラント治療に利用されてきましたが、昨年4月の社会保険診療報酬改定で保険導入されたため、開業医の歯科臨床でも幅広く利用できるようになりました。従来よりも確実な診査・診断によって、より安全で確実な歯科治療が可能となると期待されています。

そこで今回、日々の診療で安全かつ予後良好な歯科治療を行う上で、CT診断を多くの先生方にご活用していただきたために、画像診断の立場より香川豊宏先生に、開業医の立場から川崎俊明先生に、そして口腔外科の立場より古賀千尋先生にそれぞれ豊富な臨床症例でご講演をいただきました。

ご講演を、30数年前の登院実習で放射線科に回った際の初心に帰ったような気持ちで聴講させていただきました。また、テーマよりもさらに一歩踏み込んだ診療に直結した具体的な内容でした。

一部保険導入になりました歯科用CTに関しては、正にCT元年の

ような気もいたしますし、被爆の問題はありますが、確実な診査・診断による安心・安全な歯科治療を患者様に提供できるようにCTの活用がさらに重要になるうかと感じております。受講の先生方には、診療の一助になれば幸いです。

末筆になりますが、晩秋の大変お天気のよい貴重な休日にも拘わらず、香川豊宏先生・川崎俊明先生・古賀千尋先生には豊富な臨床症例と臨床経験を交えたご講演をいただき、また、遠方よりご参加いただきましたご聴講の先生方にも心よりお礼申し上げます。



卒業生NOW

常に明確な目標を持って進む事の大切さ

白井 義英 (5期)



1983年(昭和58年)卒業後、大阪歯科大学歯周病学講座に籍をおいて勉学を続ける事になりました。卒業後1年間は福岡歯科大学第2保存(歯周病学)に籍をおき学生実習などの手伝いをしていました。大阪歯科大学歯周病学講座で卒業研修(2年間)終了後、大学院へと進みましたが、諸事情により3年終了時に中途退学せざるをえませんでした。しかし、その後も歯周病学講座に籍をおいて週1回は大学へ顔出しして臨床中心の勉学を続けてきています。1991年にはUCLAの卒業研修コースで日本に先駆け歯周組織再生療法を習得しています。帰国後もジャパンゴアテックス社で開催されていたGTR&GBR講習会の手伝いをする等の多忙な毎日でした。こういった生活の中で1994年1月に白井歯科を開業する傍ら大学との

2足のわらじを履いた生活が続いています。また、学会等へは進んで参加し勉学を続け、2007~2011年の間には大阪歯科大学研修医を中心とした歯周外科>R認定コース(豚顎実習)にてサーティフィケート交付してきました。さらに、2008年のアメリカ歯周病学会参加時に仲良くなった新潟大学の先生から社会人大学院という制度があることを聞き、もう一度、大学院としての研究がしたくなり、2009年~2013年の4年間は新潟歯科大学大学院歯学総合研究科歯周診断・再建学分野での研究を行い、歯周病学会で2回、新潟歯学会で1回、アメリカ歯周病学会で1回と学会発表もこなして学位を取得しています。

現在は、白井歯科・大阪歯科大学歯周治療科・新潟大学(歯周診断・再建学分野)と3カ所での臨床および研究という日々を過ごしています。



同窓生からの手紙

ご両親は、お元気ですか?

同窓会副会長 武井 俊哉 (2期)

同窓の先生方、日々の診療・家族・歯科医師会の執務・同窓会活動・スタディーグループ等、色々ご多忙のことと拝察します。

私も何かと慌ただしくしていますが、3年程前から生活リズムが少し変わってきました。平成22年11月8日、胃潰瘍の父を医師会病院(宮崎県延岡市)に入院させ、要介護1の母を老人ホーム(日向市)に入所させました。母の要介護1は、認知症(脳血管性)によるもので、父が老々介護の心労でダウンしたのでした。

その後、2週間程で父は無事退院しましたが、老人ホームには入らず、油絵、詩吟等の趣味に没頭し1人自宅で生活を始めました。

その頃から、毎月だいたい第1週の木・金曜日に帰省しています(休診せずにするのは同窓同級の家内のおかげで、感謝しています)。3人で外食し、両親の健康状態を確認(食欲を見ます)して帰福しています。今できる唯一の親孝行です。

今年の3月3日、実家のサポートをして頂いているヘルパーさんから電話があり、父(86歳)が転倒し右肩甲骨を骨折し入院したと。打ちどころが悪ければ、致命的なこともあると聞いていたので、ホッとした次第でした。3月22日、退院した父は、そのまま母(85歳)のいる老人ホームへ入所、同居しました。遠方にいる息子としては、両親が介護施設に入ってもらって大変安心しています。

それまで、認識の甘かった介護保険制度、地域包括支援センター、認知症等色々学ばされました。

同窓の先生方、月に1度程で良いと思いますが、親に会うこと・食事すること・孝行すること等を是非お願いしたいと思います。

「すべては患者さんのために!!」

初心にかえって

皆

様こんにちは。18期生の椿賢と申します。大学卒業後は咬合修復学講座有床義歯学分野(旧補綴Ⅰ)に入学、大学院に進学しました。大学院では補綴科から感染生物学分野(細菌学)に出身し羽生哲也教授、上西秀則教授に御指導をいただき無事に学位を取得することができました。大学院卒業後、冠橋義歯学分野(旧補綴Ⅱ)で三年間助手として勤務し熊本に帰りました。

帰郷後は、同窓である有吉洋先生、黒木幸一郎先生のもとで三年間御指導をいただきました。このお二人の先生に治療の基本や患者さんへの説明や接し方を厳しく御指導していただいた事が今の自分の診療スタイルの基本になっていると思います。

平成18年6月に妻(補綴科同門)と二人で開業し今年で7年たちます。開業当初はとにかく夫婦二人で地域の方に根づいた治療、患者さんに来ていただける病院をめざして必死に頑張っておりました。患者さんは開業当初は少なかったです。徐々に増加し少し安心した頃に壁にぶつかりました。



椿賢 (18期生 / 城山椿歯科クリニック(熊本県熊本市))



それまで歯科医師は患者さんの治療をただ親切丁寧頑張れば良いと思つていました。それは勿論大事な事ですが、院長は歯科医師であり経営者でありスタッフの教育者でもあるということに初めて気づかされました。人を雇って動かし一緒に働く難しさ、経営上の困難、いくら治療の必要性を説明しても痛くなくなったら来院しなくなる患者さん…など悩みはつきず開業して6年たった頃にはかなりやる気をなくしておりました。

そんな時、第1回熊本城マラソンが開催されることを知り、何かを変えたくてフルマラソンに参加する事を決めました。実際に走ってみて人生観が変わったような気がしました。毎日の診療においても心に少し余裕を持つて仕事ができる気がするし、開業当初の気持ちを出せました。

とにかく歯医者の仕事は激務で大変です。心と体をしっかりと鍛えてこれからの地域歯科医療に貢献できればと思っております。

「地域医療と訪問歯科診療の難しさ」

全身の状態の把握と
他の医療との連携の大切さ

皆

様、こんにちは。二十五期生の藤本秀幸と申します。卒業後、総合歯科学の医局にて廣藤卓雄先生のご指導のもと臨床研修をさせていただき、歯科診療のみならず全身疾患と歯科の関連、高齢者の歯科治療における注意点などを学ばせていただきました。

その後廣藤卓雄先生のご紹介にて故郷、愛媛県の松山にて三年間勤務させていただきました。お世話になりました。歯科医院は協力歯科医院もさられておられるかとう歯科医院で、訪問診療にも力を入れられており、さまざまな施設や病院または居宅をまわ



藤本 秀幸 (25期生 / ふじもと歯科(愛媛県大洲市))



り全身疾患や認知症などさまざまな理由にて通院困難な患者さんとかかわらせていただきました。通常の診療と異なった対応や特別な道具、施設のかたの協力が必要になり、院長先生、ならびに先輩のご指導を受けながら何とか診療をすすめてまいりました。そのときに痛感しましたのは歯科にとどまらず全身の状態の把握と他の医療との連携の大切さです。口腔ケアなどは毎日のケアが重要となり施設の方に口腔ケアの大切さを理解していただく努力も必要となり、また施設の方から患者さんとの付き合いかたなどの様々なことを教えていただきました。

現在は故郷の町にかえり、診療所を開設させていただきました。わたしの地域でも高齢化の波がせまっております。訪問診療の需要も多くなっております。いままで様々な先生にご迷惑をかけて学んだ知識を少しでも生かせるよう地域歯科治療に努力を続けてまいりたいと思っております。

FRONT STUDENTS 学生からのメッセージ

支えてくれた仲間たちへ



湯浅 主庸 (大学5学年)

学費、器具代、教科書代…私立大学ならではの高額な出費。私は何度もこの大学を辞めざるを得ない状況に直面してきました。自分の力では解決ができなくなったとき、救ってくれたのは「仲間」でした。

私のために先生の所を訪ねてどうにかならぬものか懇願してくれた仲間。私が落ち込まないよう必死で励まそうとしてくれた仲間。今後、どのようにしたら一緒に卒業できるかを真剣に考えてくれた仲間。そんな仲間たちがいるから、この4年間学生生活をやってこれたのだと強く感じています。

「限りある人生の中で、自分がそのときどきに会った人をどれだけ幸せな気持ちにしてあげることができるかを常に考えよう。そして自分なりに全力で幸せにして差しあげよう。人を幸せにする事を楽しもう。それが私達に出来る社会貢献です。」

これは私がアルバイトをしている飲食店の企業理念から抜粋してきたものです。この考えに基づいて私は自分の回りにいてくれる人たちに感謝し、自分なりにその感謝を伝え、そしてその人たちを笑顔にするということを目指してさまざまな経験をしてきました。このような経験を生かして、これからは私が支える方になることを目標にしようと思います。

残り2年間、生活が苦しいのは変わらないと思いますが、支えてくれる「仲間」がいるので何事もやっていると自信があります。今まで支えてくれた人々に対して自分なりの言葉で「ありがとう」という感謝を伝えようと思います。



知らなかった自分を知る

板谷 明音 (大学2学年)



私には幼い頃から心がけていることが一つあります。それは「できるだけ色々な人と関わろう」ということです。福岡市の「成人の日記念行事実行委員」の公募を見た時にはより多くの人と関わるチャンスだと思い、すぐに手を挙げました。

成人式の実行委員会では、他大学の学生や社会人の同じ新成人仲間と、成人式開催という一つの目標に向かって活動しました。この実行委員は公募で集まったメンバーなので皆が積極的な分、話し合いが紛糾することもありました。その中で私はどのような役割で話し合いに参加すればいいか初めは戸惑いましたが、次第に調整役を心がけるようになりました。その役割をどのくらい果たせたか分かりませんが、とても勉強になりました。また、実行委員の活動を通して福岡市職員の方やタレントさん、テレビ局や新聞社で働いている方と接する機会もあり、自分の知らない世界を覗くことができました。

自分とは違うものを見てきた人や違う考えを持っている人に出会って、一緒に時間を過ごすと、知らないことがまだまだあるのだと気づかれます。

そして、その未知の領域にワクワクすると同時に、知らなかった自分を知ることができます。私はこの瞬間が一番好きです。なので、これからも大学での勉強だけでなく学外の活動にも積極的に参加し、より自分の視野を広げていきたいと思っています。



成人式後、実行委員会の全員で。

PROTECTORS 保護者様からのメッセージ

頑張れ! 学生さん

卒業して約30年が経ち、子ども二人もお世話になり、今まで以上に母校のことを考えるようになりました。私の学生時代はラグビーと飲んばばかりでしたが、矯正に興味があり矯正科に残ったことで、現在私の診療の幹は矯正となりました。その後苦勞して歯周病専門医の資格も取りました。

今日、年々国試は難しくなっていますが、国が望む歯科医師とは、全身疾患を理解し臨床検査を読んで歯科医療を実践できる人と考えられます。先日、それを裏付けるようながん治療のPEACE緩和ケア研修を受講しました。医師、看護師に限らず社会福祉士、臨床心理士、産業カウンセラーなど多職種の方が参加した丸2日間の研修でしたが、改めて世間の期待も健康寿命を延ばしQOLの向上を目指す手助けのできる医療人が増えることだと強く感じました。歯科医師もそれを目標に、ずっと勉強を続けることが必要です。

私の臨床は歯や歯周組織や骨を保存し、メンテナンスしやすい口腔内環境を作ることを目標にしています。もし抜歯に至れば、インプラントや歯牙移植また、矯正にて歯の移動により健全歯を削合さないで欠損部を縮小することを考えるようにしています。

またメンタル面では、緩和ケアも含めて心疾患を抱える患者への配慮されたコンサルが重要だと考えています。

これから先勉強から離れる時期がくれば、自分の引退の時ではと考えています。

患者さんに「先生に出会えてよかった、一生歯の面倒をみてもらいたい」と言われた時に本当のやりがい、勉強を続ける意味を感じると思います。歯科医療は素晴らしい仕事です。学生さん、頑張っている歯科医師になってください。



北園 俊司 様 (父兄後援会)

楽学 — 良き師・先輩・仲間・後輩 —

私は節目毎に、良き人に出会い、助け導かれ、これまで頑張ってきたと思っています。ある時は常に努力すること、またある時は、人の役に立つ勉強をすることの大切さを諭されました。悩み苦しみながらも、廻りの方々に助け励まされながら、学生時代、卒後、そして現在も、いつも楽しく学ばせていただいていることに、感謝しております。

学生の皆さんは、毎日勉強(講義や実習)と部活で多忙な日々を過ごしておられると思いますが、その忙しさこそ、可能性を広げる扉です。充実した時間を持てば、今後の可能性は無限に広がっていくと思います。

私たちが大学生の頃は、先生方や先輩が、下級生の頃の事や将来の夢、家族、友人、趣味の話や、礼儀、先生方や先輩とのお付き合いの仕方などを教えて下さったものです。そのことが他大学の医局でお世話になった時も、随分役に立ちました。また、地元に戻って父や兄達と一緒に仕事し始めて、医師・歯科医師、行政関係者、及び色々な職種の方、男性・女性、年齢を問わず多くの方と接しさせていただく際、誠心誠意のお付き合いを信念とすることができているのも、その様な学生時代があったからだと思っています。

最後になりますが、皆さんには、学んで楽しんで、輝かしい未来に向かって邁進して欲しいと思います。



藤政 孝志 様 (父兄後援会評議員)

平成26年度 入学試験日程

福岡歯科大学

口腔歯学部								
区分	AO入試Ⅰ期	推薦・指定校推薦入試	一般入試A日程	センター試験利用入試Ⅰ期	一般入試B日程	センター試験利用入試Ⅱ期	AO入試Ⅱ期	学士等編入学試験
募集人員	約17名	約15名	約45名	約4名	約10名	約2名	若干名	若干名
願書受付期間	H25.8.5(月)～9.6(金)	H25.10.21(月)～11.8(金)	H26.1.6(月)～1.31(金)		H26.1.20(月)～2.20(木)		H26.2.24(月)～3.13(木)	H25.10.28(月)～11.28(木)
試験日	H25.9.8(日)	H25.11.9(土)	H26.2.2(日)		H26.2.21(金)		H26.3.14(金)	H25.12.2(月)
合格発表日	1次 H25.9.10(火) 2次 H25.10.2(水)	H25.11.13(水)	H26.2.5(水) 午後5時	H26.2.5(水) 午後5時予定	H26.2.24(月)午後5時		H26.3.17(月)	H25.12.4(水)
試験会場	福岡歯科大学試験場		福岡歯科大学試験場 及び東京試験場		福岡歯科大学試験場			
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡歯科大学学務課入試係 TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp ●E-mail gakumu@college.fdcnet.ac.jp ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/colhp						 携帯電話からのアクセスはこちらから!	

福岡医療短期大学

歯科衛生学科									専攻科・口腔保健衛生学専攻		
区分	指定校推薦入試	公募推薦入試(I)	公募推薦入試(II)	一般入試A日程(社会人含む)	一般入試B日程(社会人含む)	一般入試C日程(社会人含む)	一般入試D日程(社会人含む)	AO入試(社会人含む)	一次募集	二次募集	三次募集
募集人員	約10名	約10名	約5名	約15名	約5名	若干名	若干名	約35名	約15名	約5名	若干名
願書受付期間	H25.10.1(火)～10(木)	H25.11.1(金)～7(木)	H25.12.9(月)～12(木)	H26.1.6(月)～29(水)	H26.2.3(月)～12(水)	H26.2.17(月)～3.5(水)	H26.3.10(月)～24(月)	詳細は入試係までお問い合わせください。	H25.12.9(月)～12(木)	H26.1.6(月)～29(水)	H26.3.10(月)～24(月)
試験日	H25.10.12(土)	H25.11.9(土)	H25.12.14(土)	H26.2.1(土)	H26.2.14(金)	H26.3.7(金)	H26.3.26(水)		H25.12.14(土)	H26.2.1(土)	H26.3.26(水)
合格発表日	H25.10.17(木)	H25.11.14(木)	H25.12.19(木)	H26.2.6(木)	H26.2.20(木)	H26.3.12(水)	H26.3.27(木)		H25.12.19(木)	H26.2.6(木)	H26.3.27(木)
試験会場	福岡医療短期大学						福岡医療短期大学				

保健福祉学科									
区分	指定校推薦入試	公募推薦入試(I)	公募推薦入試(II)	一般入試A日程(社会人含む)	一般入試B日程(社会人含む)	一般入試C日程(社会人含む)	一般入試D日程(社会人含む)	AO入試(社会人含む)	募集人員
募集人員	約10名	約5名	約5名	約5名	若干名	若干名	若干名	若干名	約15名
願書受付期間	H25.10.1(火)～10(木)	H25.11.1(金)～7(木)	H25.12.9(月)～12(木)	H26.1.6(月)～29(水)	H26.2.3(月)～12(水)	H26.2.17(月)～3.5(水)	H26.3.10(月)～24(月)	詳細は入試係までお問い合わせください。	H26.3.10(月)～24(月)
試験日	H25.10.12(土)	H25.11.9(土)	H25.12.14(土)	H26.2.1(土)	H26.2.14(金)	H26.3.7(金)	H26.3.26(水)		H26.3.10(月)～24(月)
合格発表日	H25.10.17(木)	H25.11.14(木)	H25.12.19(木)	H26.2.6(木)	H26.2.20(木)	H26.3.12(水)	H26.3.27(木)		H26.3.10(月)～24(月)
試験会場	福岡医療短期大学								
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡医療短期大学入試係 TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/ ●E-mail gakumuj@college.fdcnet.ac.jp ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp						 携帯電話からのアクセスはこちらから!		

キャンパス歳時記

今年も満開の桜が学園を彩りました。



編集後記

先日、アジア美術館の仮面ライダーアート展に行ってきました。キャッチコピーはもちろん「変身!」です。学生時に「学ぶことは変身することだ」と教わりハツとしたのを憶えています。それを知らなかった自分から知っている自分へと変身することなのだ。と。特撮ヒーローのように劇的ではありませんが、そのささやかな変身は意味のある前進でもあります。日々勉学に勤しむ学生さんたちは日々変身しています。われわれ教職員もペースはスローながら変身します。本誌でそのような軌跡をお知らせできれば幸いです。(NT)

オープンキャンパス開催のお知らせ

福岡歯科大学 同窓生を対象としたオープンキャンパスを5月26日(日)に開催

同窓生を対象としたオープンキャンパスを下記の通り開催いたします。当日は本学在職の同窓生との昼食会も企画しております。同窓生の皆さま、ふるってご参加ください。

日時 5月26日(日) 10:00～13:00
場所 福岡歯科大学 **集合場所** 本館9階901教室

内容 ●施設見学 ●模擬実習 ●本学在職の同窓生および出席教員との昼食会 ●大学概要説明 ●入学試験説明 など

お問合せ 福岡歯科大学 学務課 入試係 TEL 092-801-1885(直通)
E-mail gakumu@college.fdcnet.ac.jp

福岡歯科大学・福岡医療短期大学 平成25年度一般向けオープンキャンパス開催

本学への入学希望者をはじめ、そのご家族や高校・予備校の先生方を対象としたオープンキャンパスを右記の日程で開催いたします。お気軽にご参加ください。

開催校	実施日
福岡歯科大学	7月27日(土)・8月3日(土)
福岡医療短期大学	5月26日(日)／6月8日(土)・16日(日)
	7月13日(土)・26日(金)
	8月3日(土)・9日(金)・23(金)
	9月14日(土)・28日(土)／10月12日(土)
	11月23日(土)／12月14日(土)